



三島中学校3年 香川 千夏さん



江原中学校3年 大谷 直之くん



脇町中学校2年 山口 鮎美さん

# 未来へ向けて 美馬市の まちづくり

# 住民参画を基本とした「共創」と「協働」のまちづくり ●道路・情報通信基盤

「住みよいまち」とよく言うけれど…。  
 「住みよいまち」とは、どういうことなのだろうか。美馬市をもっともっと「住みよいまち」にするために、どんな取り組みがおこなわれているのだろうか…。道路や河川、公園などの整備も大切だけど、情報化の時代に取り残される美馬市では困ります。そこで、「情報電算課」を訪ねてみました。

**Q** この「情報電算課」では、どんな仕事をしているのですか？

**A** 一言で言うと、電子計算業務の情報管理や、地域情報化プラン（計画）についての仕事をしています。

**Q** 地域情報化プランとは、どのようなものですか？

**A** 物をどんなに生産し、消費するということだけで、豊かさを感じる時代から、知識や知恵が価値を生み出す社会へと変化してきました。それだけに、美馬市も情報化社会に乗り遅れることなく、情報をスムーズにやり取り出来る環境を整備する必要があります。

また、情報化によって、より質の高い行政サービスや市民サービスを実現することが出来ます。

そこで、地域の情報化、行政の情報化を総合的に進めるための計画を立て、それを実行するためのものが「美馬市地域情報化プラン」です。

**Q** プランの具体的な内容を教えてください。

**A** まず大きく3つの目標を立てています。1つは、美馬市の情報通信基盤の基礎となる光ファイバーを活用した美馬市広域ネットワークを整備し、高速インターネットサービスやIP電話、CATVサービスなど、誰もが使える情報基盤を整えます。

次に、このような情報通信技術を活用して、活気にあふれた、豊かで安心・安全なまちづくりをすすめます。例えば、市



道の駅藍ランドうたつ



光ファイバー工事

高齢化に向けた医療・福祉サービスや災害や情報セキュリティへの対策も充実させ、安全なまちづくりを進めます。

3番目は、パソコンが苦手な人でも、地域情報化のサービスが利用できるような取り組みです。誰でも参加できるパソコンやインターネットなどの体験教室や講習会を開催したり、市内通話料が無料となるIP電話やケーブルテレビの自主放送の充実など、暮らしに密着した情報化を進めます。

〔特派員コメント〕

これからの時代、情報の地域格差を感じる美馬市にならう大変。そのためには、はくたちも勉強しなければならぬと思います。積極的にチャレンジしよう。

Column <コラム>

幼稚園の情報化



平成18年(2006)、美馬町内の幼稚園が全国初の情報通信技術をテーマにした文部科学省の「実践的調査研究事業」の指定を受けました。指定を受けた5つの幼稚園では、新しい教材の開発を進めるとともにホームページを作成・公開し、保護者へ子育て情報などの提供をしています。

